

鳥取県中部地震への対応について

平成 28 年 10 月 28 日
広域防災局

I 地震の概要

- 発生日時 平成28年10月21日（金）14時07分
- ・震源地 鳥取県中部地方（北緯35.4度、東経133.9度）
- ・震源の深さ 約11km（暫定値）
- ・規模 マグニチュード6.6（推定値）、最大震度6弱
- ・各地の震度（震度5強以上：鳥取県関係）
 - 震度6弱 倉吉市、湯梨浜町、北栄町
 - 震度5強 鳥取市、三朝町

II 被害状況

1 鳥取県における人的・物的被害

区 分	人的被害(人)				建物被害(棟)		避難者数(人)	時 点
	死者	重傷	軽傷	行方不明	全壊	半壊		
鳥取県	—	3	16	—	2	7	417	10/27 7:00

III 支援状況等

1 対応体制

【災害対策準備室の設置】

発災と同時に広域防災局長を準備室長とする災害対策準備室を設置し、被害情報の収集、支援の調整を開始。

[経 緯]

- 10月21日（金）14:07 地震発生
- 14:07 災害対策準備室設置（室長：広域防災局長）
- 15:00 先遣隊3名出発（隊長：広域防災局広域企画課課長補佐）

2 支援の内容

(1) 人的支援

- ① 先遣隊派遣 3名（10/21）
- ② 医療チーム派遣 3名（1チーム、10/21）※ 鳥取県立厚生病院の機能確認
- ③ EARTH派遣 4名（10/24）のべ36名を予定（期間：10/24～10/28）
- ④ 家屋被害認定 14名（7チーム 期間：10/28～11/11）
 - 第1陣 10月28日～11月1日 滋賀県2名、京都府2名、大阪府2名、兵庫県4名、
 - （※第2陣以降は調整中） 和歌山県4名
- ⑤ 人と防災未来センター 3名

(2) 物的支援 ブルーシート：2,000枚（10/21、10/25に各1000枚発送）

3 その他関係機関等の支援（関西広域連合構成団体分）

(1) 徳島県（鳥取県との個別の相互応援協定に基づき支援）

- ① 人的支援 リエゾン (のべ実人数) 6人
 応急危険度判定要員 (のべ実人数) 統括：1名(10/24～10/26)
 建物：10名 宅地：14名
 家屋被害認定要員 (のべ実人数) 13名
 保健師 (のべ実人数) 6名
- ② 物資支援 ブルーシート 600枚 ブルーシート固定用PPロープ 965巻
 土嚢袋 5,000袋

(2) 消防・警察

平成28年10月27日現在

区分	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	徳島県	鳥取県	計
消防	—	—	—	6	—	—	3		9
警察	—	—	4	37	—	—	—		41

※消防の派遣は航空隊